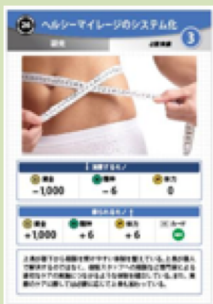


ゲームイメージ図

プロジェクトカード



青プロジェクト
-会社の仕事
-予算と実績を得る
-精神/体力は消耗



黄プロジェクト
-ヘルスケア
-予算を消費
-体力は回復



緑プロジェクト
-メンタルケア
-予算を消費
-精神が回復

各役職が話し合い、手元にあるプロジェクトカードからどれを実行していくか決める。プロジェクトを成功させると新たなプロジェクトカードを得る



プロジェクトの成否判定

プロジェクトを実行する場合、ファシリテーターが成否判定カードを引く。

カードに書かれた条件を満たしていれば成功（報酬を得る）、満たしていなければ失敗（予算や精神や体力を消耗する）



(ゴールカード)



1-6名で1チームを構成する。最小5チーム、最大8チームまで参加可能。

各チーム毎にゴールカードを引き、役職とゴールを決定する。

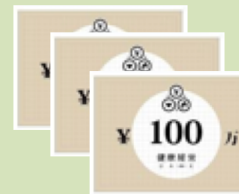
各役職への初期配布物



精神カード…1-6枚
メンタルの健康を表す
※減り始めると加速度的に減少する



体力カード…1-6枚
体の健康を表す
※減り始めると加速度的に減少する



資金カード…300-2500万円
※役職によって異なる

プロジェクトカード…3枚

資金カード、プロジェクトカードは、プレイヤー間でやり取り可能だが、精神カード、体力カードは個人に属する物のであり、プレイヤー間でやり取り不可（現実のビジネス同様）

ゲーム実施後の流れ

Step.1
問いかけ



Step.2
省察・概念化



Step.3
意見のシェア



Step.4
挙手での発表



Step.5
深掘り



Step.6
対立軸での意見



Step 1-3

Step.1 問いかけ



用意した「問い」を参加者に投げかけ、ゲーム体験を通じ、どのような思考や感情が芽生えたか、考えてもらいます。

Step.2 省察・概念化



問いに対して、感じたこと考えたことを吐き出してもらいます。（複数の問いがあってもひとつずつ吐き出してもらいます。）

Step.3 意見のシェア



吐き出した内容をグループ内でシェアします。多様な意見を述べ合うことで、考えが深まります

Step 4-6

Step. 4 挙手での発表



グループでシェアした内容を発表してもらいます。

発表は多くの時間が割ける場合は、グループの代表者それぞれに意見を聞いていきます。

全グループの意見を聞けない場合は挙手を促し、希望者に発表してもらいます。

Step.5 深掘り



発表内容が、「参加者の本言に言いたいこと」ではない可能性もあります。発表が終わった後、「他にはありますか/どうすれば良かったですか」と追加の質問を促し、更に深い意見を引き出します。

また、特定のプレイヤーが発表の中に出てきた場合、可能な範囲でそのプレイヤーにも挙手してもらい、その時の状況や感情を発表してもらいます。

Step.6 異なる立場での意見



1 位→最下位
個人目標達成→未達成
ベテラン→新人
女性→男性

など、先程の発表者の方と異なる立場の方から意見を伺い、意見の違い等を拾っていきます。

様々な立場の人の意見を拾い終えるまで、Step4-6を繰り返します。